

食品に関するリスクコミュニケーション（大阪）
大豆イソフラボンを含む特定保健用食品の食品健康影響評価（案）に関する意見交換会
アンケート集計結果

開催日：2006年2月28日（火）

参加者数：126名 回答数：85名 回答率：67%

問1.本日の意見交換会についてお聞きします。

【参加手続き】参加手続きの方法はよかったですか

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|-------------|----|--------|
| 1.とてもよかった | 10 | 11.8% |
| 2.よかった | 68 | 80.0% |
| 3.あまりよくなかった | 4 | 4.7% |
| 4.全くよくなかった | 1 | 1.2% |
| 無回答・無効回答 | 2 | 2.4% |
| | 85 | 100.0% |

【意見交換会の進め方】本日の意見交換会の進め方に関する司会者からの説明はわかりやすかったですか（開催趣旨、時間配分、意見交換の方法など）

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|---------------|----|--------|
| 1.とてもわかりやすかった | 5 | 5.9% |
| 2.わかりやすかった | 41 | 48.2% |
| 3.わかりにくかった | 23 | 27.1% |
| 4.全くわからなかった | 5 | 5.9% |
| 無回答・無効回答 | 11 | 12.9% |
| | 85 | 100.0% |

【配布資料】大豆イソフラボンの安全性評価に関する考え方のポイント資料はわかりやすかったですか

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|---------------|----|--------|
| 1.とてもわかりやすかった | 10 | 11.8% |
| 2.わかりやすかった | 59 | 69.4% |
| 3.わかりにくかった | 13 | 15.3% |
| 4.全くわからなかった | 0 | 0.0% |
| 無回答・無効回答 | 3 | 3.5% |
| | 85 | 100.0% |

【演者からの説明】演者からの説明はわかりやすかったですか

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|---------------|----|--------|
| 1.とてもわかりやすかった | 19 | 22.4% |
| 2.わかりやすかった | 53 | 62.4% |
| 3.わかりにくかった | 8 | 9.4% |
| 4.全くわからなかった | 1 | 1.2% |
| 無回答・無効回答 | 4 | 4.7% |
| | 85 | 100.0% |

【演者からの説明】演者からの説明には、自分が知りたい内容が盛り込まれていましたか

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|------------------|----|--------|
| 1.ほぼ盛り込まれていた | 11 | 12.9% |
| 2.だいたい盛り込まれていた | 58 | 68.2% |
| 3.あまり盛り込まれていなかった | 13 | 15.3% |
| 4.全く盛り込まれていなかった | 2 | 2.4% |
| 無回答・無効回答 | 1 | 1.2% |
| | 85 | 100.0% |

【パネルディスカッション】パネルディスカッションはわかりやすかったですか

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|---------------|----|--------|
| 1.とてもわかりやすかった | 6 | 7.1% |
| 2.わかりやすかった | 49 | 57.6% |
| 3.わかりにくかった | 23 | 27.1% |
| 4.全くわからなかった | 2 | 2.4% |
| 無回答・無効回答 | 5 | 5.9% |
| | 85 | 100.0% |

【パネルディスカッション】パネルディスカッションには、自分が知りたい内容が盛り込まれていましたか

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|------------------|----|--------|
| 1.ほぼ盛り込まれていた | 7 | 8.2% |
| 2.だいたい盛り込まれていた | 46 | 54.1% |
| 3.あまり盛り込まれていなかった | 25 | 29.4% |
| 4.全く盛り込まれていなかった | 2 | 2.4% |
| 無回答・無効回答 | 5 | 5.9% |
| | 85 | 100.0% |

【会場との意見交換】自分の知りたい内容や伝えたい内容について、意見交換ができましたか

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|-------------|----|--------|
| 1.ほぼできた | 4 | 4.7% |
| 2.だいたいできた | 30 | 35.3% |
| 3.あまりできなかった | 33 | 38.8% |
| 4.全くできなかった | 8 | 9.4% |
| 無回答・無効回答 | 10 | 11.8% |
| | 85 | 100.0% |

【会場との意見交換】コーディネーター（会場との意見交換のとりまとめ役）は、会場からの質問や意見を十分に聞いていましたか

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|-------------|----|--------|
| 1.ほぼできた | 8 | 9.4% |
| 2.だいたいできた | 29 | 34.1% |
| 3.あまりできなかった | 28 | 32.9% |
| 4.全くできなかった | 8 | 9.4% |
| 無回答・無効回答 | 12 | 14.1% |
| | 85 | 100.0% |

【全体を通じて】大豆イソフラボンを含む特定保健用食品の食品健康影響評価（案）に関する理解は深まりましたか

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|------------|----|--------|
| 1.理解が深まった | 51 | 60.0% |
| 2.変化なし | 21 | 24.7% |
| 3.わからなくなった | 7 | 8.2% |
| 無回答・無効回答 | 6 | 7.1% |
| | 85 | 100.0% |

【全体を通じて】消費者、事業者、生産者、研究者、行政などの関係者の立場や意見に関する理解は深まりましたか

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|------------|----|--------|
| 1.理解が深まった | 37 | 43.5% |
| 2.変化なし | 35 | 41.2% |
| 3.わからなくなった | 7 | 8.2% |
| 無回答・無効回答 | 6 | 7.1% |
| | 85 | 100.0% |

【全体を通じて】消費者、事業者、生産者、研究者、行政などの関係者への信頼感は深まりましたか

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|------------|----|--------|
| 1.信頼感が深まった | 15 | 17.6% |
| 2.変化なし | 55 | 64.7% |
| 3.不信感が深まった | 8 | 9.4% |
| 無回答・無効回答 | 7 | 8.2% |
| | 85 | 100.0% |

【全体を通じて】本日の意見交換会は、参加者が意見を述べる、もしくは、意見を交換する場として十分機能していたと思いますか

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|-------------|----|--------|
| 1.そう思う | 11 | 12.9% |
| 2.ややそう思う | 29 | 34.1% |
| 3.あまりそう思わない | 29 | 34.1% |
| 4.全くそう思わない | 6 | 7.1% |
| 無回答・無効回答 | 10 | 11.8% |
| | 85 | 100.0% |

【全体を通じて】本日の意見交換会は、食品安全行政の透明性を高める（行政の考えやその取組の内容を明らかにする）場として有用だったと思いますか

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|-------------|----|--------|
| 1.そう思う | 19 | 22.4% |
| 2.ややそう思う | 45 | 52.9% |
| 3.あまりそう思わない | 13 | 15.3% |
| 4.全くそう思わない | 2 | 2.4% |
| 無回答・無効回答 | 6 | 7.1% |
| | 85 | 100.0% |

【全体を通じて】本日得られた情報をどのような場面で活かしていきたいと思いますか（複数回答）

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|-----------------|-----|-------|
| 1.自分自身の生活に役立てたい | 30 | 35.3% |
| 2.家族や知人に伝えたい | 27 | 31.8% |
| 3.職場の同僚に伝えたい | 48 | 56.5% |
| 4.社会一般に伝えたい | 13 | 15.3% |
| 5.その他 | 6 | 7.1% |
| 無回答・無効回答 | 7 | 8.2% |
| | 131 | - |

問2. あなたご自身のことや食品の安全性に関するお考えについてお聞きします

性別

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|----------|----|--------|
| 1.男性 | 57 | 67.1% |
| 2.女性 | 26 | 30.6% |
| 無回答・無効回答 | 2 | 2.4% |
| | 85 | 100.0% |

年齢

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|----------|----|--------|
| 1.20歳未満 | 0 | 0.0% |
| 2.20歳代 | 6 | 7.1% |
| 3.30歳代 | 15 | 17.6% |
| 4.40歳代 | 25 | 29.4% |
| 5.50歳代 | 23 | 27.1% |
| 6.60歳代 | 11 | 12.9% |
| 7.70歳以上 | 3 | 3.5% |
| 無回答・無効回答 | 2 | 2.4% |
| | 85 | 100.0% |

職業

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|----------------------|----|--------|
| 1.消費者団体 | 4 | 4.7% |
| 2.無職（主婦、学生等） | 8 | 9.4% |
| 3.生産者 | 3 | 3.5% |
| 4.食品関連事業者（加工、流通、販売等） | 41 | 48.2% |
| 5.マスコミ関係者 | 2 | 2.4% |
| 6.行政関係者 | 10 | 11.8% |
| 7.研究・教育機関（食品関係） | 11 | 12.9% |
| 8.その他 | 4 | 4.7% |
| 無回答・無効回答 | 2 | 2.4% |
| | 85 | 100.0% |

食品安全に関する意見交換会への参加回数

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|----------|----|--------|
| 1.今回が初めて | 50 | 58.8% |
| 2.2回目 | 10 | 11.8% |
| 3.3回目 | 7 | 8.2% |
| 4.4回目 | 6 | 7.1% |
| 5.5回目以上 | 8 | 9.4% |
| 無回答・無効回答 | 4 | 4.7% |
| | 85 | 100.0% |

→ 2.3.4.5.を選択した方
-1、 -2へ。

-1以前、参加された意見交換会のテーマ（ で2.3.4.5.を選択した回答者n=31：複数回答）

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|---------------|----|-------|
| 1.食品の安全性全般 | 7 | 22.6% |
| 2.輸入食品 | 11 | 35.5% |
| 3.残留農薬 | 22 | 71.0% |
| 4.BSE（牛海綿状脳症） | 14 | 45.2% |
| 5.鳥インフルエンザ | 10 | 32.3% |
| 6.カドミウム | 0 | 0.0% |
| 7.メチル水銀 | 7 | 22.6% |
| 8.その他 | 3 | 9.7% |
| 無回答・無効回答 | 1 | 3.2% |
| | 75 | - |

-2行政の対応について（意見の整理や政策への反映など）（ で2.3.4.5.を選択した回答者n=31）

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|------------------|----|--------|
| 1.十分対応している | 4 | 12.9% |
| 2.どちらかといえば対応している | 13 | 41.9% |
| 3.あまりそう思わない | 12 | 38.7% |
| 4.まったく対応していない | 1 | 3.2% |
| 無回答・無効回答 | 1 | 3.2% |
| | 31 | 100.0% |

「100%安全な食品はない」について、あなたはどのように思われますか

| 回答内容 | 件数 | 割合 |
|-------------|----|--------|
| 1.強くそう思う | 51 | 60.0% |
| 2.ややそう思う | 18 | 21.2% |
| 3.あまりそう思わない | 8 | 9.4% |
| 4.全くそう思うわない | 3 | 3.5% |
| 5.わからない | 1 | 1.2% |
| 無回答・無効回答 | 4 | 4.7% |
| | 85 | 100.0% |

ご意見・ご感想（原則、個人の特定できるものに関わるものは としています。）

| | |
|----|---|
| 1 | 畑の中の肉は大事です。サプリメントは次から次へと出てくるのでブレーキはかけるべきですが、豆は昔からの歴史においても蛋白質として大事な食品です。農薬のかからない豆は食べていきたいです。何でもそうですが、ぎょうしゅくした薬品をずっと食す沢山食べるのは良くない事は常識です。 |
| 2 | コーディネーターの進行が上手くない。知りたい論点を整理して欲しい。 |
| 3 | 問1 . 4聞き取りにくい 上限値に関しては70~75ng/日に決まるのは早急ではないか。大豆食品に対しての不安材量には結びついているがサプリにつながっていない消費者が多い。何故、ああいった報道につながったかが問題。 |
| 4 | 豆腐・納豆・豆乳の安全性について厚生労働省としてホームページだけではなくて新聞・テレビ・CM等で国民に伝えて欲しい。《問1》大豆商品イメージが悪くならない様にしてほしい。 |
| 5 | 海外のイソフラボンとは関係ない根拠などで安全性について有害と主張するのはおかしい。大豆摂取量が30年間減少していないとの主張も現実を反映していない。目安量を定める根拠が不明なのになぜ急いで決める必要があるのか？もっと議論必要では？ |
| 6 | 食品の安全に関して1点を取らえて決定議論とするのはむづかしいのではないか。 氏の発言と同じ様です。 |
| 7 | 《問1》やや深まった |
| 8 | 対米等政治的な見地より、第一に安全性を考えていただきたい。 |
| 9 | もう少し資料が欲しい！ |
| 10 | サプリメント形態のものを特定保健用食品に認めるにあたってはアレルギーなどなど理由はあると思うがサプリメント利用について特に日本人は未だ成熟していないと思う。消費者教育の必要性を強く感じる。食品に関わる業者の方々には倫理感といったもの（人の命につながっているのだということをしきする）をもっと考えてほしいと思います。一栄養学者として何かできることはないか考えます。 |
| 11 | 《問1》当初声が小さかった為。 |
| 12 | 司会者の話、ききとれない。もう少し詳細な資料がほしかった。科学的調査、試験（日本での試験（日本人））が浅い様に感じた。資料では大雑把で甘いように思える。また、男性には影響あまりなさそうにも思えた。加工食品が多いが、それぞれ成分をきちんと表示しないと摂取量が自分で管理できない。売ってる食品全てに記入してほしい。 |
| 13 | 業界（事業者・団体）の反発意見が系統的に出されたように思います。拍手などで議論を妨害する場面もあり、司会の公平感が失われた。業界は豆腐製造業者が組織的に入場し、圧力をかけるが如き行動がみられた。 |
| 14 | 会場の意見を聞く時間が少なかったように思う。 |
| 15 | 会場との意見交換において、評価案に対して参加者からの反証が述べられて意見を交換することは良いことだと思うが、その反証に対して場内から拍手が起こるといふのはそのこと自体が日本でのリスクミのレベル、特に参加者のレベルの低さを痛感する。 |
| 16 | 運営が一方的だった。コーディネーター、司会者の力不足を感じた。声が聞こえづらい。パネルディスカッション時に照明が暗いなどの声があがったがいっさい無視であった。パネラーのマイクはよく聞こえたが、司会者、コーディネーターはマイクの声が聞きとりにくい。 |
| 17 | 数値設定は慎重に（影響が大きい）。トクホの機能性重要と思うが今回のイソフラボンに機能性は？ |
| 18 | パネルディスカッションの各パネリストの話はよかったですと思いました。各視点からの意見を聞けて共感するものがありました。先生の講演中、後ろの方の私語が気になり先生の話が聞きとりにくかったです。 |
| 19 | コーディネーターの発声が悪く聴きづらかった。 |
| 20 | 一日摂取目安量をどのように決めたいかを知りたかったので、とてもわかりやすかった。特に 先生の説明はよくわかった。良い面、悪い面の表示をするようにという趣旨はよくわかった。 |
| 21 | さん、もっと大きな声でゆっくり言ってほしい。答えはみんなに分る話し方が一番です。他の先生にも言えることですが。 |
| 22 | 1日に75mgですが食品として食べる場合は、考えなくてもよいのではと思います。錠剤になるととりすぎる心配があると思う。 |
| 23 | いろいろな立場の方との集う場はそれぞれのメリット・デメリットがうきぼりにされて大変面白いし、理解が深まると思われました。《問2 -1》BSEの話題になってしまったような・・・ |
| 24 | 一般にも訳りやすい資料を情報として出しながら食品とわけて行うべきで特定すべきでないと思う。ダイズイソフラボンもとりすぎしないよう付けかわえる必要もあると思います。自分で管理するテーマで基準は必要ない。 |
| 25 | 開会あいさつはもっと簡単にすべき。詳しく話をするならば講演とすべし。ディスカッションでは、偏った意見しか出ていないので、全体のバランスは悪い。食の安全・安心に対して不安が広がるリスクコミュニケーションでは開催する意味がない。京大の先生の話は（2分間）面白かった。《問2 -2》特に内閣府 |
| 26 | ディスカッションのメンバー構成にかたよがりがありましたね。（農水、厚労の方は、会場より状況により発言し、パネラーは少なくする（一定）ことや、マスコミの方をパネラーに入れて行ってはどうですか？） |
| 27 | 評価の初期段階から、国民に広く意見を募るべきではないか？この段階まで来ると、変更は難しい。 |
| 28 | トクホのみの摂取制限のみにしてほしい。 |
| 29 | 意見交換会の時間が短い。コーディネーターの方の話が聞きとりにくい。 |

| | |
|----|--|
| 30 | 《問2》始めて知った。 |
| 31 | 健康への関心が高まり、健康食品がたくさん流通している。いわゆる健康食品とよばれているものと、保健キノウ食品の混同がおこらないよう、そして、リスク分析が望まれる。新しいものが次々とでてきているので、よろしく願います。《問1》少し聞きとりにくかったボンボンと話されていた。 |
| 32 | イソフラボンの害という報告がありますか？（国内、海外）もしない場合はそのような規定の必要性もありません。96)番の参考文献ですが、同グループその後1500mg/日投与量で不妊治療に応用したという発表もありました。副作用と認識した場合は、150mg/日の10倍量を投与するでしょうか？参考文献の基準は不明である。成分によって副作用は異なる。129)番の参考文献について、同グループはDaidzienとEqouIはそうではない。130)番の参考文献について、別グループはDaidzienとタモキシフェンと相乗効果である。AHAのコメントは十分である。1998年8月～2005年4月の間に22参考文献の倍以上発表されており、参考文献の基準は不明である。《問1》不十分 |
| 33 | 《問2》その通り。本来「食育」とは、これを行政が行うべきではないか。ほうれん草のゆでたものに、どれだけVITAが含まれているというあいまいな情報はもういいかげんやめてらどうか。 |
| 34 | 諸外国の事例等が出されたが、日本人との体質に差があると思う。上限より下限についての健康評価が必要ではないか。先生、氏の意見を尊重したい。 |
| 35 | 司会の方、非常に早口で、とても集中しないとききとれませんでした。コーディネーターの方、2回も声がききとりにくいとの意見があった。声がきちんとマイクに入るように事前に位置など確認してはどうか。これまで数回参加してきたが、今回のようなことはありませんでした。 |
| 36 | イソフラボンの過剰摂取による健康被害の事象についての説明が非常にあやふやな為、数値の判断基準が全くわからないので、納得できないのではないのでしょうか？この基準が厳しいかゆるいかは、日本としての試験によったものでちゃんとトライアルをやってもらいたいです。75mg/日という表現ではなく、22.5mg/日とか年間 x kgとかいう表現にできないのでしょうか？ |
| 37 | ある程度の知識を持って参加したつもりですが、講演内容やパネリストの話を知っているうちに、不安が大きくなり、わからなくなりました。消費者に理解しやすく、情報をPRしていただきたいと思います。 |
| 38 | マスコミの影響が大きいと思うので、報道発表時にはよりいねいに、判りやすく、一般消費者を想定して行ってください。 |
| 39 | パネリストの方々の壇上の照明が暗く陰気な感があり、次回の反省にさせていただければ可かと思えます。コーディネーター（前半）の音が聞きとりにくく（マイク使用の仕方悪）残念。 |
| 40 | 司会の声が小さく、先生方の場所（前）が暗い。7人でのディスカッションする意味が分かりません。 |
| 41 | 安全性を評価する際に、外国文献ばかりを参考にするのは如何かと思う。日本の食品安全委員会なので、日本での（日本人での）結果から評価すべきである。《問1》わかりやすかったが理解しがたい部分もある。《問1》わかりやすかったが理解しがたい部分もある。《問1》国民の意見が反映させれば。 |
| 42 | 本安全委員会の案は昨年の最初の案以来、public opinionを求めながらも本質はかわってない。日本人の食生活の深い大豆食の栄養効果、安全性について、外国の不十分な専門家の批判に耐えない文献のみにより主張の正当性を裏付けようとしている態度がみられ、日本の安全委員会のあり方に根本的な改革が必要である。日本人の安全基準は日本人のデータを集めて出すべきである！ |